

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行
2020年3月期
決算補足資料

2020年5月12日(火)

- I . 2020年3月期決算について
- II . 2021年3月期の戦略及び見通し

I . 2020年3月期決算について

< 2020年3月期 連結損益計算書の概要 >

(単位：百万円)

	19/3月期	20/3月期	前期比 (増減率)	備 考
売上高	29,066	26,197	△9.9%	・半導体市場及びスマートフォン市場低迷の影響を受ける ・自動車・車載部品向けは好調を維持
営業利益	1,895	1,328	△29.9%	・売上総利益率が、0.6P減少 ・販管費は、ほぼ横ばいの前年比△0.6%
営業利益率	6.5%	5.1%	△1.4P	
経常利益	2,004	1,435	△28.4%	
経常利益率	6.9%	5.5%	△1.4P	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,370	972	△29.0%	
当期純利益率	4.7%	3.7%	△1.0P	

Point !

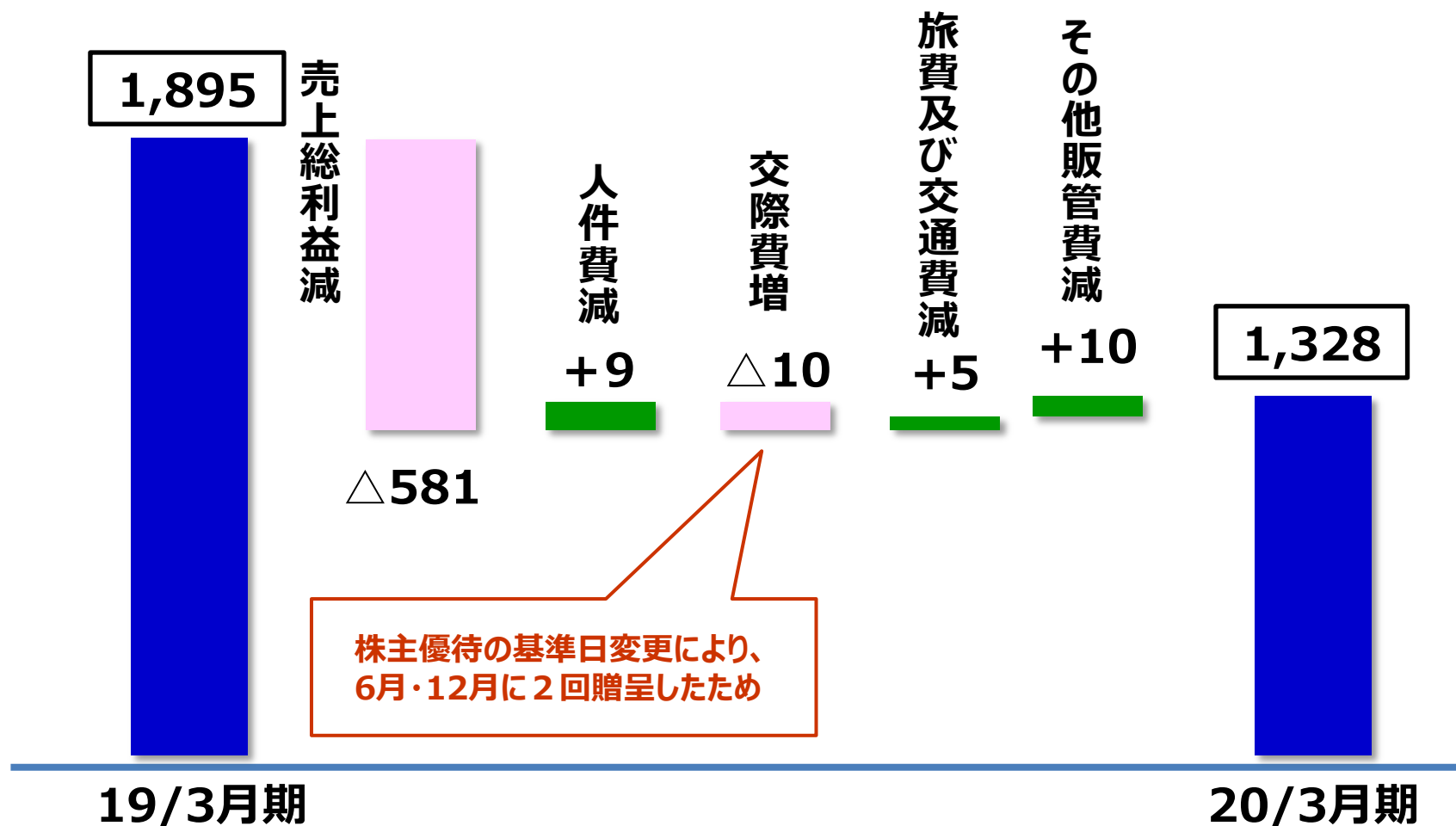
- 連結売上では18/3・19/3月期を下回ったが、17/3月期より上回る

I. 2020年3月期決算について



<連結営業利益増減分析>

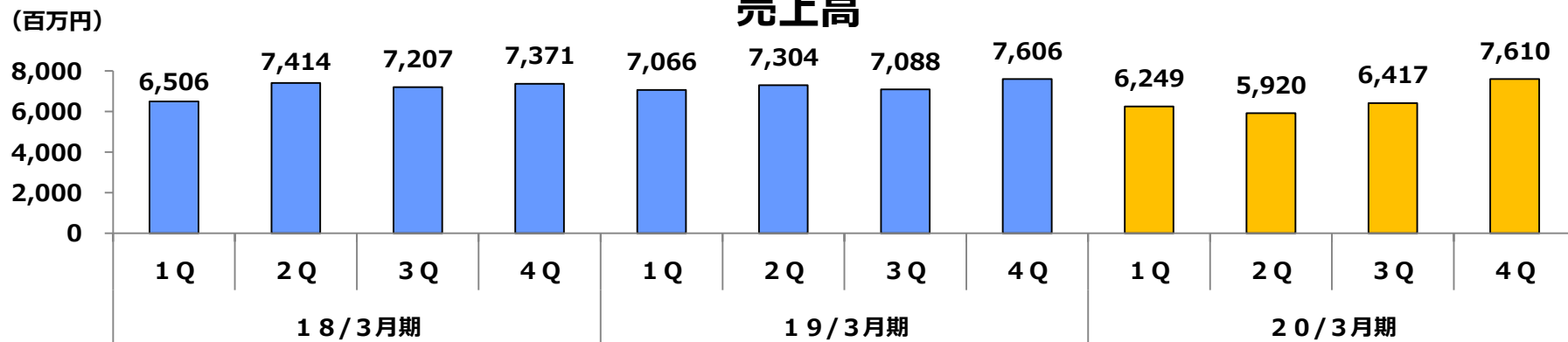
(単位：百万円)



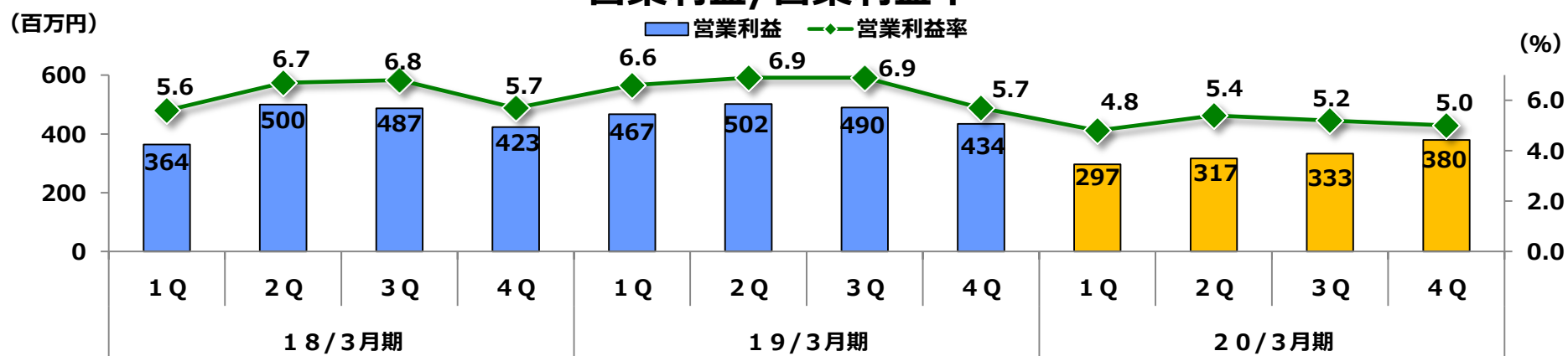
※数値は百万円未満を切り捨てて表記しております。

<四半期毎の売上高・営業利益の推移>

売上高



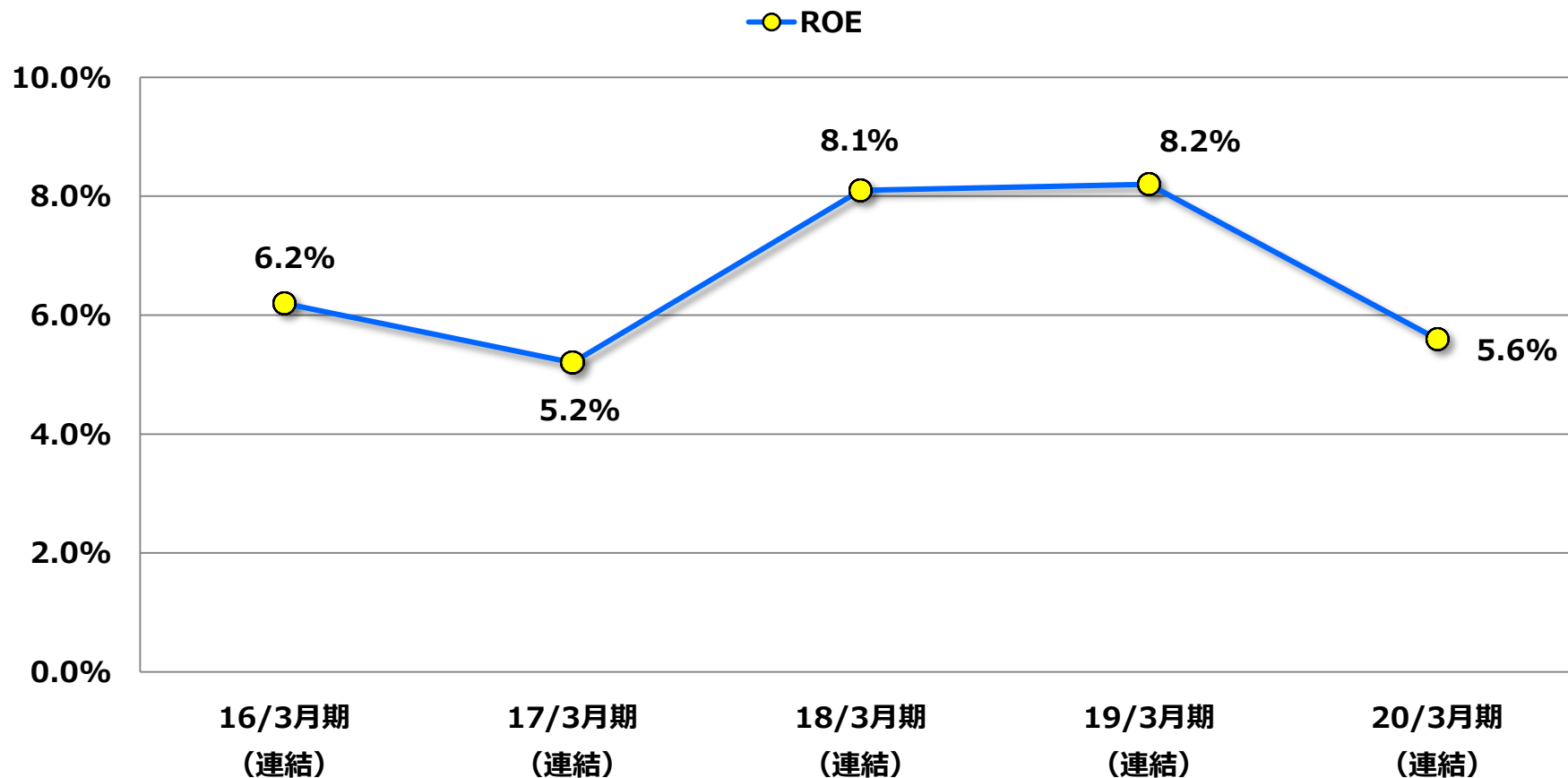
営業利益/営業利益率



Point !

● 第3四半期まで低迷 第4四半期より回復の兆し

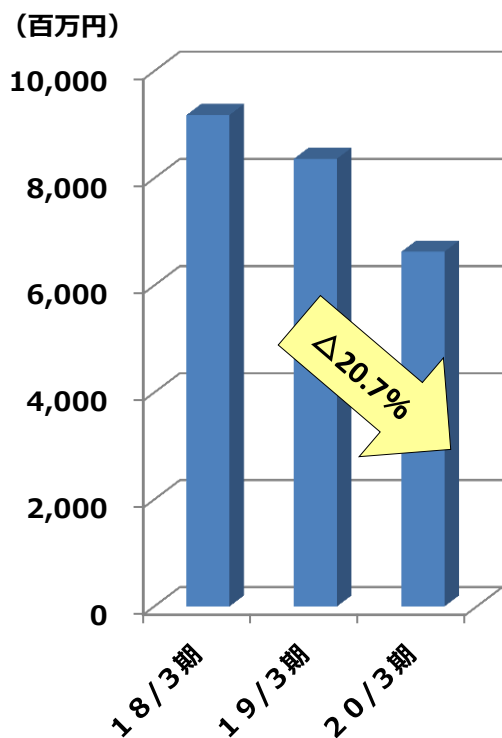
<ROEの推移>



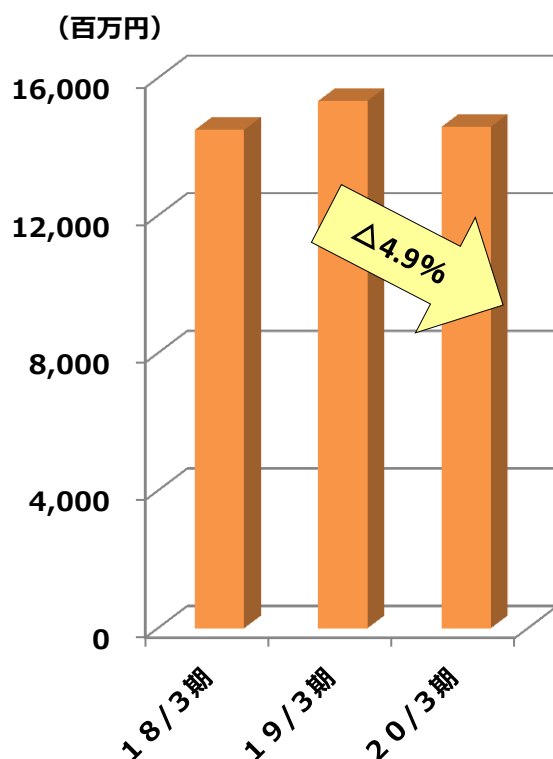
■ ROEは**8.5%以上**を目標

<部門別売上高推移>

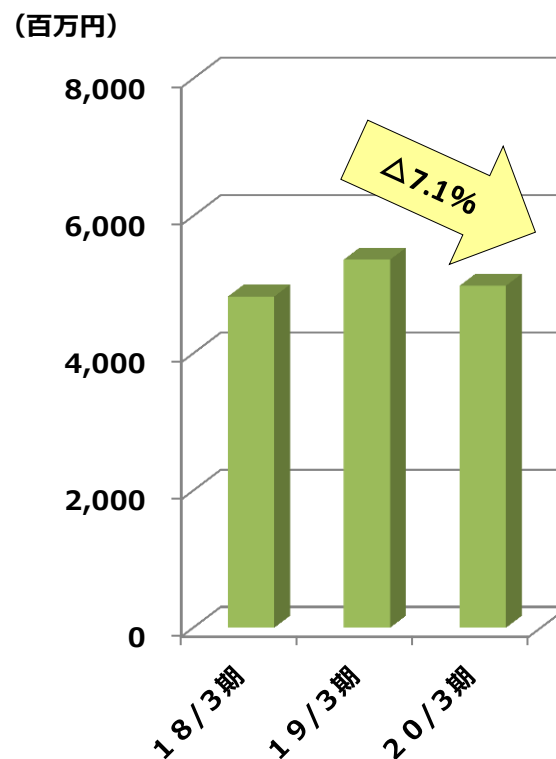
制御機器



F A 機器



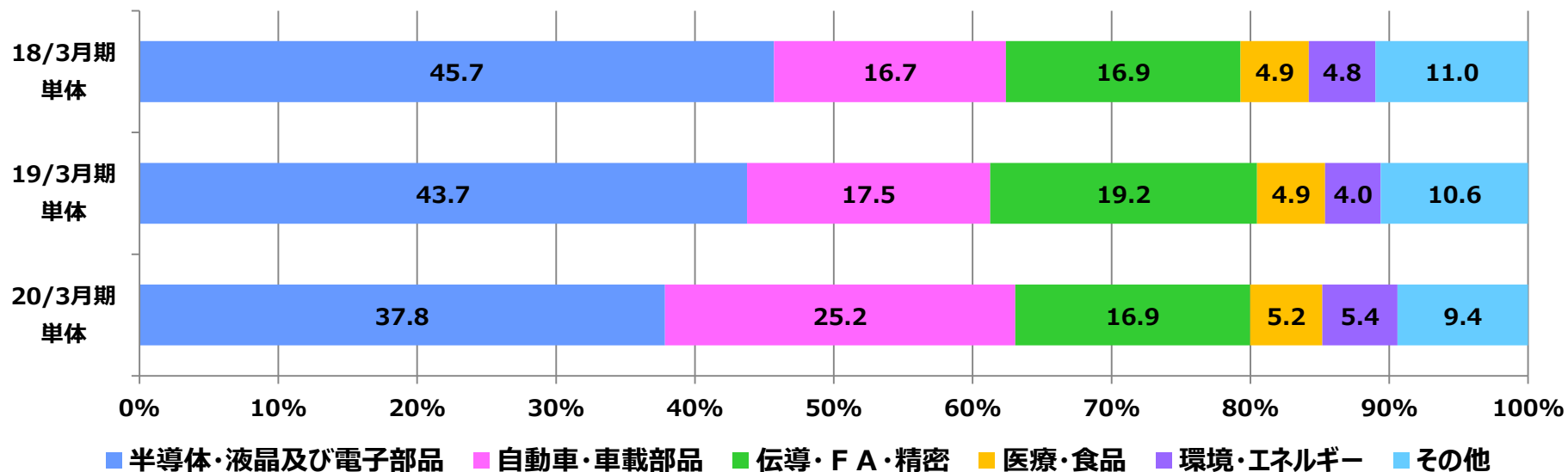
産業機器



Point !

- 【制御機器】半導体及び半導体製造装置、物流システム関連の得意先からの受注減少の影響
- 【F A 機器】国内外で電子部品に関連する得意先からのロボット及び実装関連の受注が減少
- 【産業機器】半導体に関連する得意先へろ過フィルターの販売は増加したものの、国内外における設備投資減速の影響を受ける

<業種別売上構成比（単体）推移>



Point !

<半導体・液晶及び電子部品>

半導体市場及びスマートフォン市場低迷の影響を受けシェアが減少（△5.9 P）

<自動車・車載部品>

自動車・車載部品関連の一部得意先からの装置・システム関連の大口案件がありシェア拡大（+7.7 P）

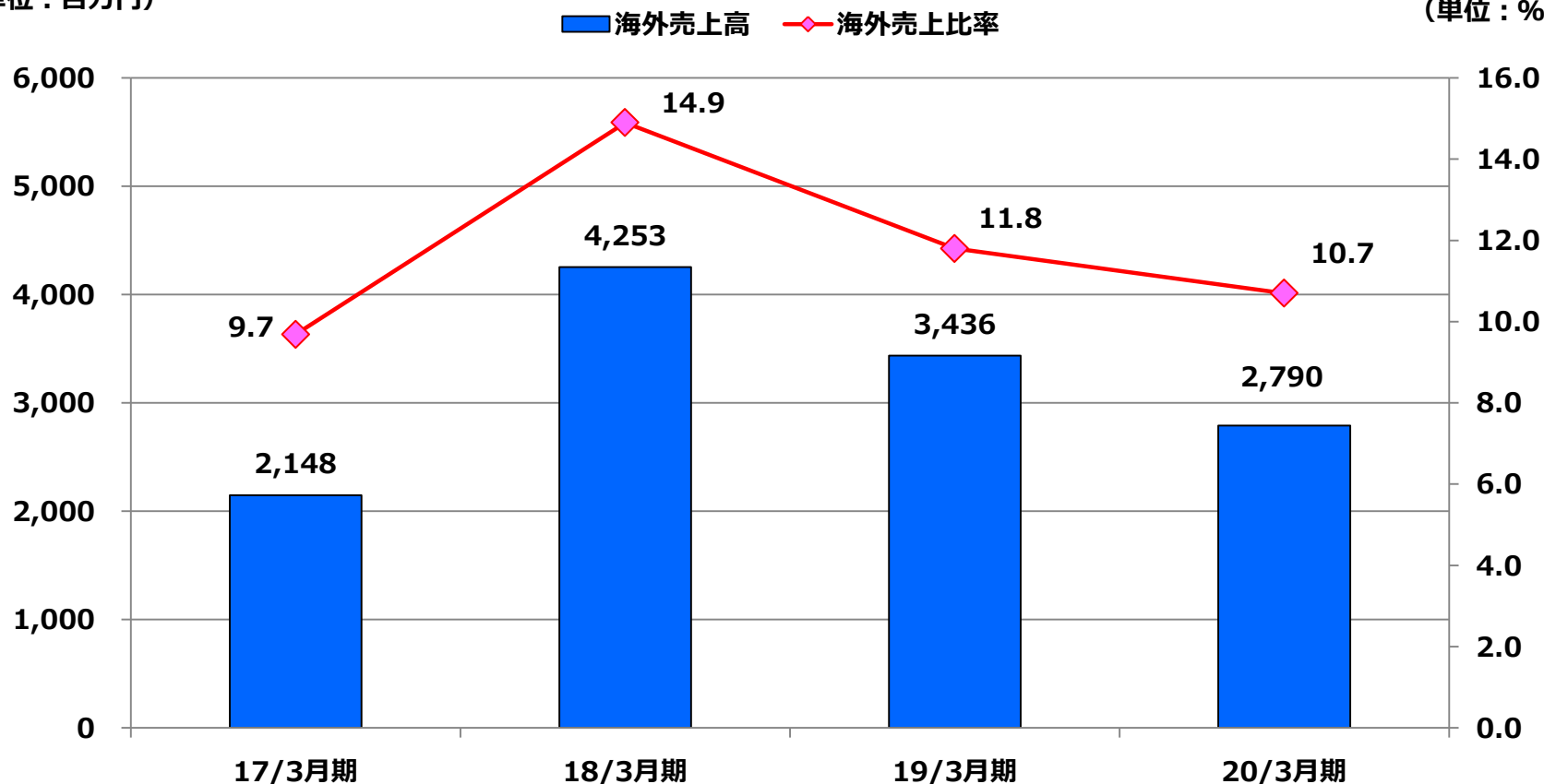
<伝導・F A・精密>

物流システム関連の得意先からの受注が大幅減少しシェア減少（△2.3 P）

<海外売上高・海外売上比率>

(単位：百万円)

(単位：%)



Point !

- 米中貿易摩擦の影響により中国経済の市況悪化の影響を受け、F A 機器の受注が減少し鳥羽（上海）貿易有限公司の売上高が前年割れしたことが主因

<2020年3月期 連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	19/3月末	構成比 (%)	20/3月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	22,163	81.3	20,896	78.8	
現金・預金	10,712	39.3	9,742	36.7	
受取手形・売掛金 ※1	11,309	41.5	10,999	41.5	
商品	97	0.4	109	0.4	
固定資産	5,113	18.7	5,623	21.2	
資産合計	27,277	100.0	26,520	100.0	
流動負債	9,898	36.3	8,690	32.8	
支払手形・買掛金 ※2	9,057	33.2	8,093	30.5	
固定負債	314	1.2	320	1.2	
負債合計	10,213	37.4	9,010	34.0	
純資産合計	17,064	62.6	17,509	66.0	
負債純資産合計	27,277	100.0	26,520	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

Point !

- 構成比に大きな変化はございません。

I. 2020年3月期決算について



<連結キャッシュ・フロー計算書の概要>

(単位：百万円)

	19/3月期	20/3月期	2020年3月期のC Fの主な内訳
営業活動によるC F	2,172	89	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前当期純利益の計上 (+1,435百万円) ・売上債権の減少 (+287百万円) ・仕入債務の減少 (△954百万円) ・法人税等の支払 (△531百万円)
投資活動によるC F	△495	△27	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の払戻 (+500百万円) ・定期預金の預入 (△500百万円)
財務活動によるC F	△476	△520	<ul style="list-style-type: none"> ・配当金の支払 (△519百万円)
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△19	△10	
現金及び現金同等物 の増減額	1,180	△469	
現金及び現金同等物 の期首残高	9,031	10,211	
現金及び現金同等物 の期末残高	10,211	9,742	

Ⅱ． 2021年3月期の戦略及び見通し

<2021年3月期の戦略>

◆既存得意先への拡販と新規得意先の開拓

- ・当社**主要得意先**である半導体・液晶製造装置、電子部品関連及び自動車・車載部品等への設備投資需要の取り込み
- ・**三品業界**など自動化が進んでいない得意先への、F A 機器の販売を積極的に展開
- ・「**5G**」及び「**CASE**」に関連する得意先の潜在需要の取り込み（新規開拓）
- ・**装置・システム案件**の更なる拡販
※単品販売から製造業の自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販
- ・将来を見据えた **Eビジネス**の確立（取り扱い商品を拡充など）

◆新商材の発掘

- ・レーザー機器、ろ過機器（日本インテグリス）につづく新たな商材を発掘

◆海外拠点強化

- ・海外子会社との連携強化（情報共有し当社販売網の活用）

<2021年3月期業績見通しの発表見送りについて>

新型コロナウイルス感染拡大が続いており、国内外経済に大きく影響を及ぼしております。当社グループの事業領域は国内外で多岐にわたり、現時点で業績予想の合理的な算定が困難であることから、予想値の公表を見送ることといたしました。

なお、状況が収束し業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

この資料には、2020年5月11日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道 2 丁目 8 番 6 号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp